



国リ発第640号
平成29年8月25日

都道府県
各 指定都市 障害保健福祉主管部（局）長 殿
申核市

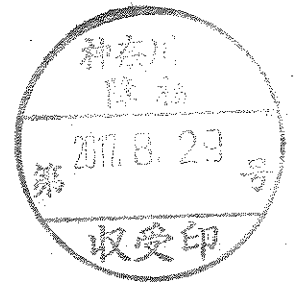
国立障害者リハビリテーションセンター総長



平成29年度 リハビリテーション看護研修会の開催について

標記について、別紙実施要綱により開催することといたしました。

つきましては、貴管内関係機関への周知について特段の御配慮を御願ひ申し上げます。



平成29年度 リハビリテーション看護研修会実施要綱

1 目的

リハビリテーション看護又は知的障害・発達障害の看護に必要な専門的知識を習得し、その資質の向上を図るとともに、障害者看護の充実に資することを目的とする。

2 主催

国立障害者リハビリテーションセンター

3 期間

平成29年10月31日(火)～11月2日(木)

4 場所

国立障害者リハビリテーションセンター学院(埼玉県所沢市並木4丁目1番地)

5 受講定員

50名

6 受講資格

リハビリテーション看護又は知的障害・発達障害の看護に2年以上従事し、看護師、准看護師の免許を有している者

7 研修内容

別紙日程表のとおり

8 研修会費用

5,700円(初日に現金徴収する。なお、宿泊費及び食費は含まない。)

9 受講手続

受講希望者は、国立障害者リハビリテーションセンター学院ホームページ(下記URL)にアクセスし、申込案内に従いお申し込み下さい。

必ず希望コースを選択して、該当欄に記入してください。

URL <http://www.rehab.go.jp/College/japanese/training/29train.html>

10 申込締切

平成29年9月29日(金)17:00

11 受講決定

10月6日(金)までに、ご登録いただいたメールアドレス宛て通知します。

期日を過ぎても受講決定が届かない場合は下記の連絡先までお問い合わせください。

12 修了証書

研修会の全日程を修了した者に対し、修了証書を授与します。

遅刻、早退等があった場合、修了証書を授与できないことがありますので御注意ください。

13 宿泊施設

①本センターの研修用宿泊施設に宿泊希望する者は、申込書式の該当欄にチェックをして下さい。

②宿泊費用は一泊2,060円(初日に宿泊日数分を徴収します。)但し宿泊は研修会当日(10月31日)からとし、初日の研修会終了後の入舎となります。

※研修前日の宿泊はできません。

③宿泊人数には制限がありますので、お申し込みいただいても宿泊できない場合があります。

④宿泊施設での食事の提供はございません。素泊まりのみとなります。

⑤研修用宿舎のため規則があります。ご承知のうえお申し込みください。

入浴17:30~22:00 門限22:30 消灯23:00 外泊不可

⑥宿舎の詳細については当センター学院 研修部門 HP に掲載しています。

(トップページの「研修宿舎」)

14 その他

①お申し込みの際はお名前の文字等、正しくご入力ください。

お申し込み後に入力事項の誤りに気づかれた場合は下記までご連絡ください。

②本研修会に関する照会は、国立障害者リハビリテーションセンター学院にお願いします。

③研修会最終日の終了時間は、プログラムの進行上延長もしくは変更される場合があります。お帰りの航空機、列車等の手配は予め時間に余裕をもってご準備願います。

④一部聴講は受付しておりません。

〒359-8555

埼玉県所沢市並木4丁目1番地

国立障害者リハビリテーションセンター学院 研修担当

TEL 04-2995-3100 (内線2612・2619)

FAX 04-2996-0966

mail ml-gakuin-kensyu3@rehab.go.jp

URL <http://www.rehab.go.jp/College/japanese/kenshu/>

平成29年度 リハビリテーション看護研修会 日程表

リハビリテーション看護コース

テーマ：退院支援～生活の場へ向けて

日付	午 前	午 後
10月 31日 (火)	<p>・ 受付 (10:10-10:40)</p> <p>・ 開講式 (10:45-11:00)</p> <p>①講義 (両コース共通) 地域包括ケアにおける看護活動の展開と連携 病院・施設から地域に向けて (11:00-12:30)</p> <p>宮城大学 看護学群・大学院 教授 石原 美和</p>	<p>②講義 看護師が行う意思決定支援と家族看護 ～脳神経系疾患看護を通して～ (13:30-15:30)</p> <p>横浜市立脳卒中・神経脊椎センター 慢性疾患看護専門看護師 下村 晃子</p> <p>③グループワーク 看護師が行う意思決定支援と家族看護 ～脳神経系疾患看護を通して～ (15:45-16:45)</p> <p>横浜市立脳卒中・神経脊椎センター 慢性疾患看護専門看護師 下村 晃子</p>
11月 1日 (水)	<p>④講義 在宅療養を支える病院と地域との連携Ⅰ (9:00-10:30)</p> <p>国立精神・神経医療研究センター 緩和ケア認定看護師 花井 亜紀子</p> <p>⑤講義 在宅療養を支える病院と地域との連携Ⅱ (10:45-12:15)</p> <p>国立精神・神経医療研究センター 緩和ケア認定看護師 花井 亜紀子</p>	<p>⑥講義 (両コース共通) 折れない心をつくる3つの方法：SOCを高めよう (13:15-14:45)</p> <p>グローバルヘルスコミュニケーション 代表 蝦名 玲子</p> <p>⑦意見交換 自施設の退院調整の現状と課題 (15:00-16:30)</p> <p>国立障害者リハビリテーションセンター 病院看護部</p>
2日 (木)	<p>⑧講義・グループワーク 訪問看護ステーションの現状 ～病院の看護師に求める役割～ (9:00-12:15 休憩15分含む)</p> <p>埼玉県訪問看護ステーション協会 会長 三塩 操</p>	<p>⑨講義・グループワーク 在宅医療への移行と継続に向けた現場での取り組み (13:15-16:30 休憩15分含む)</p> <p>埼玉県訪問看護ステーション協会 会長 三塩 操</p>

平成29年度 リハビリテーション看護研修会 日程表

知的・発達障害コース

テーマ：知的障害・発達障害児者の健康管理～施設で働く看護師の役割

日付	午 前	午 後
10月 31日 (火)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 受付 (10:10-10:40) ・ 開講式 (10:45-11:00) ①講義 (両コース共通) (11:00-12:30) 地域包括ケアにおける看護活動の展開と連携 病院・施設から地域に向けて 宮城大学 看護学群・大学院 教授 石原 美和 	<ul style="list-style-type: none"> ②講義 知的障害児者入所施設で働く看護師の役割 (13:30-15:00) 社会福祉法人 北海道療育園 理事長 医学博士 岡田 喜篤 ③講義 強度行動障害の理解 (15:15-16:45) 国立障害者リハビリテーションセンター 病院長 西牧 謙吾
11月 1日 (水)	<ul style="list-style-type: none"> ④講義 知的障害・発達障害の人に多い 薬物療法と児童期の薬物療法 (9:00-10:30) 医療法人 FLATS ヒルサイドクリニック 医師 荒田 智史 ⑤講義 知的障害児者の健康管理 (10:45-12:15) 社会福祉法人フロンティア いけぶくろ茜の里 看護師 根本 昌彦 	<ul style="list-style-type: none"> ⑥講義 (両コース共通) 折れない心をつくる3つの方法：SOCを高めよう (13:15-14:45) グローバルヘルスコミュニケーションズ 代表 蝦名 玲子 ⑦講義・実習 障害者の口腔ケア (15:00-16:30) 明海大学 歯学部 形態機能育成学講座 口腔小児科学分野 講師 吉田 由美子
2日 (木)	<ul style="list-style-type: none"> ⑧講義 知的障害児者の理解、医療現場での配慮 (9:00-10:30) 砂川市立病院附属看護専門学校 主任専任教員 看護師 野田 孝子 ⑨意見交換 (10:45-12:15) 砂川市立病院附属看護専門学校 主任専任教員 野田 孝子 国立障害者リハビリテーション 自立支援局 秩父学園 看護師 堀越 徳浩 	<ul style="list-style-type: none"> ⑩講義 医療のバリアフリーを考える 自閉症や知的障害のある人の医療機関受診の問題点 (13:15-14:45) 総合病院国保旭中央病院 脳神経外科部長 大屋 滋 ・ 閉講 (14:45)